

令和7年度 第4回学校運営協議会 議事録

○日時 3月18日(水) 書面開催

○出席者(回答者) 新井立夫委員 山上達彦委員 高橋哲也委員 向谷朱美委員

稲葉奈津子委員

1 協議事項

(1) 令和7年度茅ヶ崎西浜高等学校学校評価報告書(実施結果)

資料に基づき、意見聴取

【教育課程・学習評価について】

委員：

・「考えをまとめる授業」では、評価3・4合わせて90.4%、「課題解決方法を考える」でも90.4%となり、目標を達成することができたことは評価に価する。

・授業内で「10の技法」を活用している職員は年々増えているが、全職員が実施できるように努力していただきたい。

・学校行事、生徒会活動のその多くを生徒主体で企画・立案・運営することができたことも評価に価する。今後も生徒が主体となって企画・立案・運営することができるような進め方をしていただきたい。

委員：

・授業改善において「課題解決」等の項目で90.4%という極めて高い達成率を収められたことに深く敬意を表します。実社会で正解のない問いに立ち向かう力が求められる中、貴校が組織的に取り組まれている「思考の可視化」や「10の技法」の共有は、生徒の将来のキャリアを支える確かな基盤になると確信しております。

・生徒主体の行事運営が定着している点も、自律的な人材育成の観点から非常に意義深いです。今後も

生徒の皆様が「自ら動く」喜びを最大化できるよう、弊社としても知見を活かし、伴走者として全力で
ご支援させていただきます。

・また貴校HPの特色>プログラミング教育研究推進校の取り組みには「H31~R4」の取り組みが記載
されております。「思考の可視化」や「10の技法」についても載せられると宜しいかと思えます。

委員：

・学校行事や生徒会活動を生徒主体で取り組むことによる経験や成功体験は、自信となり学習や生活の
向上、自己の成長につながると思えます。今後も多くの生徒が関われる機会を増して欲しいです。

委員：

・「10の技法」の活用率はどの程度なのでしょうか。活用率が上がらない理由を明確にし、次回の課題
に盛り込んではいかがでしょうか。私の理解が足りていないと思いますが、ロゴについての研修会やロ
ゴの板書やプリントの意味が不明でした。

委員：

・②について、毎回同じような事を申し上げて恐縮ですが、各学校行事を生徒自身が企画・運営する事
について、若い頃から見つけておく事により将来（特に社会人）活かせることができるので非常に良
い経験だと思います。文化祭でお邪魔した時も、先生方はあまり関与せず生徒自身で盛り上げていたよ
うに感じたので、世代が変わってもこのような感じであってもらいたいと思うところです。

【生徒指導・支援について】

委員：

・①について、頭髪指導、服装指導での帰宅指導になる案件が減少したことは、喜ばしいことである。
生徒自身・家庭との頭髪・服装への意識の高まりが、減少につながったと思われる。

・交通事故の件数は減少したとは言えないとのことであるが、事故となった原因を見定めて、繰り返さ
ないような指導を図っていただきたい。

・ポータルブックの結果分析を年 2 回行い SSW、SC 面談へつなげることができたことは評価できる。今後も継続してつなげていていただきたい。

・②について、新生生の加入率が 45%と目標を下回ったとのことであるが、部活動は学校への帰属意識の高揚にもつながるので、一人でも多く名生徒が部活動に加入して、活動を行っていただきたい。義務教育段階では、部活動の市民体育などへの移行が叫ばれているなか、その世間の風潮と逆行することにも取られがちではあるが、茅ヶ崎西浜高等学校への帰属意識や集団行動の在り方が、社会的自立などに寄与していくと思われるので、保護者も巻き込むような形で、頑張ってください。

委員：

・頭髪・服装や交通マナーの指導について、日々の意識付けが大事だと思います。(学校だけでなく家庭での意識付けも必要だと思います。) 今後も粘り強く実施して欲しいです。

・中学の部活動の地域移行が行われている中、校内の部活への入部の減少が懸念されます。

学校説明会をはじめ入学後のオリエンテーリング、学校の HP など部活の魅力を発信できる場が増える
とよいと思います。

委員：

・達成状況①で数値が示されていないので、どのくらい達成しているか不明確であった。評価の観点に削減率を入れると評価しやすいと感じた。先生方の努力で学校が年々よくなっていることは十分に感じている。

委員：

・①について、頭髪や服装指導現象の件、幸いなことに現在は派手にする事が流行らない傾向にあることも一因でしょうか。年頃なだけにおしゃれをしたい気持ちとのバランスが難しいところです。交通事故については、恐らく自転車通学の事と思われますが、今春に道交法改正により自転車のルールが変更になる事から、場合によっては交通安全講習が必要かもしれません。

・②について、部活動の非加入については部活に魅力が無いという考えなのか、経済的問題なのか、あるいは個人の時間を大事にしたい結果なのか、調べてみる必要があるのかもしれない。

【進路指導・支援について】

委員：

・①について、インターンシップなどへの参加数は昨年度より増加したことは評価できる。

・②について、Classroomなどを活用し、進路関連情報を生徒や保護者に提供したことも評価に値する。

インターンシップなどの就業体験は、学校の授業では体験できない要素が多くあるので、ものの見方考え方も含め、実際の就業から学ぶことは多くあるので、多くの生徒が参加できるように、保護者の協力も得て、取り組んでいただきたい。

委員：

・まず、インターンシップ参加数が昨年度より増加した点は、生徒の皆様の職業観を育む上で非常に大きな一歩であり、先生方のきめ細やかな周知の賜物と存じます。弊社の知見に照らしても、高校時代の「実社会との接点」は、その後のキャリア選択における納得感やキャリアの幅を知る上で、大きく左右する極めて重要な要素と思います。

・Classroom等の活用による適時適切な情報発信や、e-ポートフォリオの継続的な運用も着実に定着しており、基盤の強固さを感じます。

次年度の課題とされる「記録の活用（リフレクション）」の深化においても、弊社の持つ事例などを共有させていただき、生徒の皆様の未来を共に支えていければ幸いです。

本年度の着実な成果を拝見し、次年度に向けたさらなる深化について一点、私見を述べさせていただきます。他校の事例では、ポートフォリオ内の目標設定が「英語を頑張る」「良い点数を取る」といった抽象的な表現に留まることで、期末の振り返りの際に「具体的にどのプロセスが有効だったのか」という検証が困難になるケースも見受けられます。目標設定の精度を一段高めることで、生徒の皆様がより納

得感を持って自らの成長を実感できるようになると考えております。この点につきまして、弊社のような民間企業におきましても、社員と管理職を繋ぐ「評価シート」の中で、行動プロセスを具体化し、振り返りの質を上げるための枠組みを長年培ってまいりました。もし宜しければ、教育現場でも活用いただけるような目標設定のフレームワークを改めてご紹介させていただければ幸いです。

委員：

・アプリを活用し進路関連の情報を生徒と保護者が共有できているのは、とても良いと思っています。継続してほしいです。

委員：

・数値目標、数値評価で定量的な評価がよい。増加した、減少しただけでは不十分。前年ベースの目標でよいのか、学校としての目標を新たに検討するのかが必要だと感じた。保護者に対して進路情報を提供することはとてもよいことだと思う。保護者の開封率はどの位あるのか気になった。

委員：

・最近はや時代の変化により、進学・就職にしても自分が何をやりたいかを考え進路を決めるのが主流のようで大学進学が狭き門でとりあえずどこでも進学できれば良かった昔に比べると隔世の感があります。少数ながら就職を選ぶ生徒もいると思いますが、人手不足による労働条件の改善もあり、長続きせず短期間で転職という例も多いので、生徒にはより一層慎重に考えた方がよいのかもしれない。

【地域等との協働について】

委員：

・①について、例年通りに PTA 活動を実施できたが、参加者は例年通りで、~~母~~参加は微増したことは、喜ばしいことである。PTA 活動や PTA 役員の役回りが悪のように取り上げられたりしているが、茅ヶ崎西浜高等学校においては、学校・PTA・地域が一体となって、生徒に関わりを持ち、育て上げていくという方針を維持していただきたい。おおくの保護者が参加しやすい形を構築してもらいた

い。

・HP は年 20 回以上最新データに更新することができたことも評価に値する。今後も継続して更新をして
いていただきたい。

委員：

・PTA の活動でサポーターを募るのはよい取り組みだと思いました。多くの保護者に関心を持ってもら
うためにも継続していてもらいたいです。

・引き続き地域行事へ積極的に参加し、生徒の活躍する姿を見せて欲しいです。

委員：

・学校 HP の更新頻度が増加したことは素晴らしい。頻度が達成できているので、内容に重きを置いて
はどうか。共働きも増え、子どもの教育に無関心な親も多くなる中で、PTA 活動の教化は年々難しくなっ
てきていると考える。

委員：

・①について、時代の変化により働く人が増えて、自分の時間を割いてまでこういった活動に参加する
方が少なくなり、ある程度の固定化はやむを得ないのかもしれない。

・②について、ホームページを 20 回以上更新しているのは頑張られていると感じます。大変だと思
いますが、情報を取得したいニーズも多いと思いますので、その期待に応えていただきたいと思
います。

【学校管理・学校運営について】

委員：

・①について、PTA による登校指導や自転車点検など安全安心に配慮した活動ができたこと、環境整備
活動には、サポーターや生徒 3 人の参加があったことなど評価することができる。

・②について、チャットを活用して会議の回数を減らすなど業務の精選を図り、長時間労働をする職員
を減らすことができたことは、働き改革が叫ばれる中、おおいに評価することができる。

・ICT 支援員による AI 活用に関する職員向けの研修会を実施し、多数の教員が参加したことも、先生方の意識の高まりとして評価することができる。

・③について、大きな事故はなかったが、事故につながりそうな案件が2件発生した。早期に対応したことで事なきを得たとのことであるが、早期発見ができ、早期対応が図れる、体制の構築を図っていただきたい。

・④について、図書館における授業利用数は昨年度が29回に対して、今年度は45回となったことは、評価に価する。多くの授業で、利用ができるようにして、書籍に慣れ親しむことも図っていただきたい。

・図書館について、Teams では20回以上、図書だより（ナミホ）で5回情報を発信することができたことも評価できるので、今後も継続して行っていただきたい。

委員：

・図書館を見学した際、明るい雰囲気が入りやすく、生徒たちの居場所の一つだと感じました。本の陳列もわかりやすく生徒のニーズに合ったレイアウトも印象的でした。書籍を活用した授業内容などで利用を増やして欲しい。

委員：

・学校職員の皆さんが激務の中、業務時間の短縮を行っていることは素晴らしい。一方で改善が働きかけだけでは短縮は難しいと感じました。業務負荷の分散など仕組みで対応が必要だと考えます。

委員：

・②の教職員の働き方改革について、人を扱う仕事だけにDX化やAIによる代替が難しく、また少子化の割に業務量が減少していない、教員のなり手がいない…など構造的な問題があるだけに学校だけの努力にも限界があると思います。

・不祥事や事故については、自分が知る限りでは特に耳にしたことが無く、教員の方の日頃の努力の結果だと思いますので、今後もこれを維持していただければと思います。

【その他】

委員：

・神奈川県立茅ヶ崎西浜高等学校の先生方の熱心な取り組みは、十分に伝わってくるので、世間の風潮にあらがうこともあったりして、何かと大変かと思いますが、これまでの指導を継続して取り組んでいていただきたい。

(これだけ、劇的に生徒の様子がよりよい方向で変わってきた高等学校は、他にはないと思われるので、茅ヶ崎西浜高等学校として、自信を持って、さまざまな指導を図っていただきたい。)

委員：

・長い間西浜高校の委員をさせて頂き、年々良い学校になっていると感じています。ひとえに教育に携わる教職員の皆さんの努力だと思います。引き続きより良い学校を目指して励んで頂きたいと考えます。お力添えできることがありましたら、お声がけ頂けますと幸いです。